



2023 年度事業報告

自：2023 年 7 月 1 日

至：2024 年 6 月 30 日



1. 事業の概況

一般社団法人日本バレーボールリーグ機構は、2030 年度に世界最高峰のリーグを目指し 2024-25 シーズンにスタートする「V.LEAGUE REBORN」に向け、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグと改称し、新たなスタートを切りました。今年度は、新型コロナウイルスの 5 類移行による制限の撤廃により、コロナ以前と同様の形態での運営に戻り、近年では、最も多くのお客さまをお迎えすることとなり、リーグの運営環境の回復を強く感じる 1 年となりました。そのような中で、新たな SV.LEAGUE 及び V.LEAGUE への移行を翌年に控え、現体制での最後のシーズンとして、競技の魅力やイベントの面白さを最大限発信し、収益最大化、事業性の維持・向上を成し遂げることを目的として運営に取り組んでまいりました。

以下、2023 年度事業年度の概況を取りまとめご報告いたします。

2023 年 9 月 25 日に開催した第 18 回定時社員総会において、先にも述べた法人名称の改称を伴う、来るべき「V.LEAGUE REBORN」に向けた、事業力及びガバナンス強化の観点から、定款の改正を発議し、承認されました。又、欠員となっていた監事の選任を行い、佐藤嗣朗氏の監事就任も併せて承認されました。また、株式会社フィールドエックス、日本ルクソールシステム株式会社(現・一般社団法人アルテミス北海道)、秀栄システムテクノ株式会社(現・株式会社アブレイズ)並びに一般社団法人カノアスポーツ振興会(現・株式会社カノア)の入社承認を行い、社員数は 55 法人(57 チーム)となりました。

一方で、2024 年開催のパリオリンピックに向けた代表選手の招集時期の早期化等もあり、男女ともに、レギュラーシーズンの短縮を余儀なくされ、例年と比較しても 1 か月ほど早期にシーズンの終了を迎えることとなりました。

又、代表選手の招集が早期に行われたこともあり、シーズンが短縮化されたこと、オールスターゲームの開催を見送るなど、リーグ運営に苦慮するシーズンともなりました。

経営面では、前々年度に DAZN との契約が終了したことによる大幅な収入減の中、新たなスポンサー企業の開拓を含めた増収努力による収入の最大化を図ることで、収支均衡予算と計画しました。しかしながら、スポンサー契約に向けた努力により、若干の増収をはかることはできたものの、大幅な収益の回復は見込めない状況となり、一昨年度と同様、V1 クラブのチーム旅費の負担見送り、V1 賞金の削減、更には V1 クラブへの追加会費の負担により収支状況を回復しました。

V・ファイナルステージの予想を上回る観客の動員による増収により、37百万円の黒字となりました。しかし、秋からの新リーグの始動により、将来的な利用が見込めなくなった貯蔵品の除却を行ったことにより、経常利益は26百万円となり、昨年度末における債務超過を僅かながら、解消することができました。

来期から、新たに SV.LEAGUE 及び V.LEAGUE としてスタートするにあたり、新たなライセンス制度の導入を行いました。ホームアリーナの設置、売上高基準の設定、取締役会設置会社の義務化等、新たな基準に基づき、SV ライセンス並びにVライセンスの審査を実施し、SV.LEAGUE に女子 14 クラブ、男子 10 クラブ、V.LEAGUE に女子 11 クラブ、男子 18 クラブが参戦することを承認しました。

しかしながら、新リーグ編成に向けた運営体制の準備を進める過程において、SV.LEAGUE と V.LEAGUE それぞれを志向するクラブの目指す方向性の違いが明確となり、二つのリーグをそれぞれ運営する法人への



分割について、検討を進めました。その結果、新年度より一般社団法人ジャパンバレーボールリーグをSV.LEAGUEを運営する一般社団法人SVリーグとV.LEAGUEを運営する一般社団法人ジャパンバレーボールリーグとして出発することとし、4月8日に開催した臨時社員総会において、提起し承認を受けました。

新たにSV.LEAGUEとV.LEAGUEとして出発する、それぞれのリーグをより魅力あるリーグとする為には、費用削減に努めることはもちろんのこと、収益の大幅な増加が必須の状況であり、スポンサーセールスの強化により収益増を図るとともに、「V.LEAGUE REBORN」の成功により、リーグの価値を高め将来にわたり、安定運営できるよう取り組んでまいります。引き続きご協力の程、お願いいたします。

以下、事業内容を、詳述いたします。

2. 事業内容

(1)V.LEAGUE DIVISION1

2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 MENは10チームの参加により2023年10月14日に大浜だいしんアリーナ(大阪府堺市)をはじめ2会場で開幕し、4回戦総当たり方式によるV・レギュラーラウンド180試合と上位6チームによるV・ファイナルステージ7試合を実施しました。

V・レギュラーラウンドはSV.LEAGUEを見据えた完全ホームアンドアウェー方式を導入し、すべての試合を無事開催することができました。V・レギュラーラウンド優勝はパナソニックパンサーズとなりました。又、最終節まで、ファイナルラウンド進出を懸けた順位争いが続き、日本製鉄堺ブレイザーズが6位となり、V・ファイナルステージ進出を果たしました。

優勝したパナソニックパンサーズをはじめサントリーサンバーズ、東レアローズ、JTサンダーズ広島、ウルフドッグス名古屋、日本製鉄堺ブレイザーズの上位6チームによるトーナメント方式のファイナルステージを3月23日にクォーターファイナル、24日にセミファイナルをそれぞれ大田区総合体育館(東京都大田区)で開催し、パナソニックパンサーズとサントリーサンバーズがファイナル出場を果たしました。又、惜しくも敗れた東レアローズとJTサンダーズ広島も3位決定戦へ進出となりました。

3位決定戦、5位決定戦を3月30日に、ファイナルを31日に有明コロシアム(東京都江東区)で開催しました。

パナソニックパンサーズとサントリーサンバーズによるファイナルは、サントリーサンバーズが3対0で勝利し、昨年の雪辱を果たし、見事に2年ぶり11度目の優勝を飾りました。

2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMENは12チームの参加により2023年10月21日にSAGAアリーナ(佐賀県佐賀市)で開幕し、2回戦総当たり方式によるV・レギュラーラウンド132試合と上位6チームによるV・ファイナルステージ7試合を実施しました。

パリオリンピックに向けた日本代表選手の招集時期の早期化により、V・レギュラーラウンドの短縮が必要となり、前年度の3分の2程度の開催規模となりました。

V・レギュラーラウンドはJTマーヴェラスが22戦全勝での優勝となり、JTマーヴェラスをはじめNECレッドロケッツ、久光スプリングス、埼玉上尾メディックス、デンソーエアリービーズ、トヨタ車体クインシーズが、V・ファ

イナルステージに進出いたしました。

上位 6 チームによるトーナメント方式の V・ファイナルステージを 2 月 24 日にクォーターファイナル、25 日にセミファイナルをそれぞれ片柳アリーナ(東京都大田区)で開催し、JTマーヴェラスと NEC レッドロケッツがファイナル出場を果たしました。又、惜しくも敗れた埼玉上尾メディックスとトヨタ車体クインシーズも 3 位決定戦へ進出となりました。

3 位決定戦、5 位決定戦を 3 月 2 日に、ファイナルを 3 日に高崎アリーナ(群馬県高崎市)で開催しました。

JTマーヴェラスと NEC レッドロケッツによるファイナルを 3 月 3 日に行い、NEC レッドロケッツが 3 対 1 で勝利し、昨年に引き続き、見事に 2 年連続 8 度目の優勝を飾りました。

女子の総試合数の減少の影響があったものの、各チームの努力と都道府県協会のご協力により、全ての試合を無事円滑に開催することができました。観戦入場者数をみると、大会合計で 536,263 人(対前年比 75,179 人増)、男子は 402,270 人(対前年比 139,049 人増)、女子はレギュラーラウンドの試合数が大幅に減少したこともあり 133,993 人(対前年比 63,870 人減)、となりました。1 開催日平均では、男子が 2,180 人(対前年比 749 人増)、女子が 964 人(2 試合/日が大半のため試合数平均、対前年比 1 人減)でした。

V.TV イージースポーツで、DIVISION1 全試合ならびに DIVISION2 WOMEN、DIVISION3 MEN のファイナルステージ全試合をライブ配信し、多くのファンの皆さまに Vリーグの試合をお届けすることができました。また、テレビ放送については、BS 放送で男女計 6 試合(NHK BS1、BS フジ)、CS 放送で男女計 64 試合(GAORA、フジテレビ ONE/TWO/NEXT)、地上波(ローカル放送)でも男女計 47 試合を放送いただきました。

(2)V.LEAGUE DIVISION2・3

2023-24 V.LEAGUE DIVISION2 MEN は 10 チームによる 3 回戦総当たり方式で全 135 試合を実施しました。大会は北海道イエロースターズが初優勝を飾りました。

2023-24 V.LEAGUE DIVISION2 WOMEN は 10 チームによる 2 回戦総当たりの V・レギュラーラウンドと上位 3 チームによる V・ファイナルステージの競技形式で、V・レギュラーラウンド 90 試合 V・ファイナルラウンド 2 試合全 92 試合を開催しました。レギュラーラウンド、ファイナルステージともにヴィクトリーナ姫路が優勝を飾りました。

男女合計で 229 試合をのべ 50 会場(男子 28 会場、女子 22 会場)で開催することができました。観戦入場者数をみると男女合計で 95,657 人(対前年比 21,575 人増)、男子は 44,791 人(対前年比 9,323 人増)、女子は 50,866 人(対前年比 12,251 人増)となりました。1 開催日平均では男子は 574 人(前年比 107 人増)、女子は 795 人(前年比 235 人増)でした。

2023-24 V.LEAGUE DIVISION3 MEN はフラッグラッド鹿児島を加えた 11 チームによる 2 回戦総当たり方式の V・レギュラーラウンドと上位 3 チームによる V・ファイナルステージの競技形式で全 112 試合を実施

いたしました。レギュラーラウンド、ファイナルステージともにフラーゴラッド鹿児島が加盟初年度での初優勝を飾りました。23 会場で試合を開催し、観戦入場者数は 26,177 名、1開催日平均では 451 名となりました。

今シーズンから新たに倉敷アブレイズ、アルテミス北海道、カノアラウレアーズ福岡の新規加盟 3 チームを加え、2023-24 V.LEAGUE DIVISION3 WOMEN が 4 チームによる 5 回戦総当たり方式で全 30 試合を実施いたしました。大会は、男子と同じく今期加盟初年度の倉敷アブレイズが、初優勝を飾りました。6 会場で試合を開催し、観戦入場者数は 16,371 名、1開催日平均では 910 名となりました。

(3)その他大会

①V Cup(女子大会)

DIVISION1 WOMEN では、レギュラーラウンドの短縮を補完する形として 2024 年 3 月 9 日より 4 月 7 日まで、V Cup を開催しました。6 チームずつ AB の各グループ分けを行い、1 回戦総当たりの予選リーグ戦を行い、各リーグ上位 2 チームによる、トーナメントの合計 34 試合を実施いたしました。

グループ A は 1 位デンソーエアリービーズ、2 位日立 Astemo リヴァーレ、グループ B は 1 位岡山シーガーズ、2 位JTマーヴェラスとなり、V Cup ファイナルラウンドへ進出しました。

V Cup ファイナルラウンドは、4 月 6 日、7 日に駒沢オリンピック公園運動場屋内球技場(東京都世田谷区)にて開催され、6 日のセミファイナルを勝ち上がった、デンソーエアリービーズと日立Astemoリヴァーレによる決勝となり、デンソーエアリービーズが 3 対 2 で優勝となりました。

② 2023 V・サマーリーグ(女子大会)

2023 V・サマーリーグは東西 2 箇所に分かれ、西部大会は、2023 年 6 月 30 日～7 月 2 日に滋賀ダイハツアリーナ(滋賀県大津市)で、東部大会は 2023 年 7 月 7 日～7 月 9 日に松本市総合体育館(長野県松本市)にて各 14 チームの合計 28 チームが参加しました。西部大会はバレーボール女子ユニバ日本代表が優勝、観戦入場者数は 3 日間で 3,373 名でした。東部大会は PFU ブルーキャッツが優勝し、観戦入場者数は 3 日間で 3,059 名でした。また、大会期間中に印象に残る活躍をし、かつ将来性の高い選手に贈られる「フレッシュスター賞」には各 DIVISION から東西それぞれ 1 名ずつ計 4 名が選ばれました。

③ 2023 Vリーグジュニア選手権大会

2023 年 8 月 26 日、27 日に 2023 Vリーグジュニア選手権大会を岐阜メモリアルセンター(岐阜県岐阜市)で開催しました。男子は 19 チーム、女子は 22 チームが参加し、それぞれブイリーとブイきちの 2 グループに分けた 2 日間の予選会で熱戦を繰り広げました。男子は、グループブイリーで奈良ドリーマーズハピネスが優勝、パンサーズジュニアが準優勝、グループブイきちでは、WOLFDogs 名古屋 U-14 が優勝、STINGS Jr.が優勝となりました。女子は、グループブイリーでティルマーレジュニアが優勝、エアリービーズ・ジュニアが準優勝、グループブイきちでアランマーレジュニアが優勝、飛騨バレーボールクラブが準優勝となり、それぞれ優勝チームが 11 月に開催される日本一決定戦へ進出することとなりました。

11月12日に男子はエントリオ(愛知県稲沢市)、女子は小真木原総合体育館(山形県鶴岡市)でそれぞれ開催され、男子はWOLFDOGS名古屋U-14が、女子はティルマーレジュニアが優勝しました。

④ FIVB 世界クラブ男子選手権大会 2023

2023 アジアカラブ選手権大会を制したサントリーサンバーズが、2023年12月6日～12月10日にインド/バンガロール(参加6チーム)にて開催されたFIVB世界クラブ男子選手権大会2023に、日本代表として参加し、準決勝で惜敗するものの、3位決定戦でハルクバンクスポーツクラブ(トルコ)に3対2で勝利し、同大会で初めて日本のチームがメダルを獲得しました。

(4) 広報/プロモーション活動

① 記者会見

2023-24 V.LEAGUE の開幕を控えた、2023年10月2日にDIVISION1 WOMEN、10月9日にDIVISION1 MEN の開幕記者会見をオンサイトとオンラインのハイブリッド形式にて、DIVISION2 及びDIVISION3 は、10月23日にオンラインで開催いたしました。DIVISION1 からDIVISION3 まで出場全チームから男女計66選手が参加し、会見とトークセッションを通じて大会の魅力と意気込みをPRしました。

② 2023-24 V.LEAGUE オフィシャルソング

2022-23 シーズンに引き続き、今シーズンも株式会社 LDH JAPAN に所属する5人組ヒップホップグループの「DOBERMAN INFINITY」の『アンセム』をオフィシャルソングとして決定しました。開幕記者会見やV・ファイナルにも出演し、V・ファイナルステージのセット間に行われたライブでは会場が一体となり、大会を盛り上げて頂きました。

③ V.LEAGUE コラボレーション

□V.LEAGUE × 東ハト

2018-19 シーズンから毎年行っている、株式会社東ハトの受験生応援商品とコラボレーションし、リベロ=ボールを「落とさない」という験担ぎ(げんかつぎ)として、受験生応援 SNS キャンペーン「#リベロからのお守り」を実施しました。東ハト社公式サイト「カナエル神社」にはブイリー・ブイきちデザインの絵馬なども登場しました。

④ プロモーション活動

□V.LEAGUE オフィシャルファンサイト

2018-19 シーズンから新サイトへ移行した「V.LEAGUE オフィシャルファンサイト」は、2023-24 シーズンもファンの皆様楽しんでいただけるコンテンツの作成や迅速な情報の提供に努めて参りました。2023-24 シーズン開幕戦の注目カードの見どころや開幕戦スケジュール等を紹介する開幕戦ガイドページや、V.LEAGUE 観戦初心者の方が、来場される際のガイドとして利用できる初心者向け観戦ガイドページでの情報発信によ



り、ファンの皆さまへの積極的な情報発信に努めました。

□公式 SNS【X(旧 Twitter)、Instagram、Facebook、YouTube、TikTok、LINE】

公式ホームページでは紹介しきれない情報や、一般報道では伝えられない選手関連情報、試合映像や写真の紹介、また選手のサイン入りグッズをプレゼントするキャンペーンなどを実施しました。今後も写真や動画を掲載し、幅広い世代のファンの皆さまにアプローチし、様々な最新情報やアリーナ外でも楽しめるコンテンツの提供に努めてまいります。2024年5月1日時点の各公式 SNS のフォロワーは X(旧 Twitter)/ 204,550 名、Instagram/ 94,497 名、Facebook/25,348 名、YouTube/92,217 名、TikTok/4,893 名となりました。

□Vリーグ公式チケット販売サイト(V チケ)

2014-15 シーズンより 10 シーズンにわたり、チケットイングのサービスを提供してまいりました「V リーグチケット」は、「V.LEAGUE REBORN」に伴う販売体制の変更に伴い、2024年5月31日をもってサービスの提供を終了いたしました。長きにわたり多くのファンの皆さまにご愛顧を賜りましたことに感謝申し上げます。

なお、V チケ会員数は 2024 年 4 月 7 日時点で 166,933 名、販売枚数は、143,634 枚となりました。

2024 年 6 月からは、新サイト「チケット V」をリリースし、これまで以上にお買い求めいただきやすい販売サイトを目指し、努力して参ります。

□VOLLEYBALL CARD COLLECTION(V コレ)

2022-23 シーズンより株式会社 Tixplus の開発・運営のもと V リーグ公式カードコレクションサービスとして運営している「VOLLEYBALL CARD COLLECTION(V コレ)」も 2 シーズン目を迎え、パワーアップして展開いたしました。

V1 男女全チームの選手のプレーシーンをデジタルカードとして配信するだけでなく、実際に行われる試合結果の勝敗を予想する「みんなの YOSO(ヨソー)」を新たに追加し、リアルとも連動しながらファンの皆さまにお楽しみいただきました。

また、開幕、年末年始、V・ファイナルステージに合わせて、V コレと連動したオンラインくじ「V くじ」の販売も行うなど、様々なサービスを提供した結果、加入者は、シーズンで 49,116 名となりました。

⑤ 映像配信

□V.TV イージースポーツ

今シーズンも EASY PRODUCTIN 株式会社と連携し、「V.TV イージースポーツ」にて、2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 MEN 及び DIVISION1 WOMEN の全試合と DIVISION2 WOMEN 及び DIVISION3 MEN の V・ファイナルステージ全試合を配信いたしました。それ以外にも新規入会キャンペーンとして、選手の直筆サインが当たるキャンペーンなどを実施しました。

(6) 社会貢献活動

① 日本骨髄バンク支援活動

社会貢献活動の一環として、2006/07 シーズンより公益財団法人日本骨髄バンクへの支援活動を行ってきました。2023-24 シーズンも全国各地の V.LEAGUE 大会の会場に横断幕やのぼりを設置する等、骨髄バンクの活動を啓蒙いたしました。

② 令和 6 年度能登半島地震支援

令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震への支援活動として、リーグ戦、ファイナルステージにおいて、募金活動を行いました。又、ファイナルステージにおいては、チャリティーオークションも実施し、多くのファンの皆さまから、支援をいただきました。

(7) 普及活動

① V・明日夢(みらい)プロジェクト

「V・明日夢(みらい)プロジェクト」は、2012 年 11 月にスタートし、全国でバレーボールの普及に努めてきました。

Vリーグ選手の OB/OG で構成する講師の登録数も 150 名を超えました。今年度は新型コロナウイルスの影響がなくなった結果、昨年度に比べて大きく活動の機会が増加し、参加者 1,000 名を超える実績となりました。

□ V・明日夢プロジェクト・バレーボール教室

今年度の V・明日夢プロジェクトバレーボール教室は全国 15 会場での開催となりました。教室は株式会社ビジネスブレイン太田昭和協賛などにより行われ、小中高生などを対象にのべ 814 名が参加し、講師はのべ 16 名が参加しました。

□ V・明日夢プロジェクト・武蔵野市内小中学校訪問 活動記録

東京都武蔵野市教育委員会にご協力いただき、武蔵野市内の小中学校 17 校へ訪問し、バレーボールの素晴らしさを伝えました。

(8) 研修会・委員会活動

① 若手研修会

今年度の若手研修会はオンラインにて実施し、計 149 名の選手が参加しました。内容は V.LEAGUE REBORN への理解とインタビュー及び SNS 利用、コンプライアンス研修を行いました。



開催日時: 【第1回】2023年7月17日 11:00～17:00

【第2回】2023年7月23日 11:00～17:00

開催方式: 実開催

出席対象者: 入社1年目の選手

② 2023-24 V.LEAGUE キックオフミーティング

キックオフミーティングを開催して、V.LEAGUEの大会運営に関する説明を行いました。今年度も昨年度に引き続き、WEB方式での開催となりました。

開催日時: 2023年9月9日 14:00～16:00

開催方式: WEB会議方式

出席対象者: チーム、都道府県バレーボール協会

③ JURY 会議

JURYが一堂に会し、2023-24 V.LEAGUEの運用の確認を行いました。

開催日時: 2023年9月2日 13:00～17:00

開催方式: パナソニックアリーナ(大阪府枚方市)での実開催

出席対象者: JURY

④ レフェリークリニック

2023-24 V.LEAGUEの運用の重要事項を確認するレフェリークリニックを開催しました。

開催日時: 2023年9月3日 12:00～15:15

開催方式: パナソニックアリーナ(大阪府枚方市)での実開催とWEB会議によるハイブリッド方式

出席対象者: JURY、Vレフェリー、チーム監督、都道府県バレーボール協会審判委員長

⑤ ゲームコーディネータークリニック

大会の競技以外部分の全体のコントロールを行う、ゲームコーディネーターが集まり、その役割と今シーズンの運用等について確認を行いました。

開催日時: 2023年9月23日 13:00～14:00

開催方式: WEB会議方式

出席対象者: ゲームコーディネーター

⑥ 各種委員会活動

委員会は、理事・チーム代表・事務局・外部有識者などが委員となり、研究内容・方向性・一定の結論などを理事会・チェアマンに報告、答申する役割を担っています。



主要な委員会として「実行委員会」、「裁定委員会」、「法務委員会」、「役員指名報酬委員会」などがあり、活動を行いました。

(9) 助成金

独立行政法人日本スポーツ振興センターより、我が国における国際競技力の向上を期するための国の助成金制度「競技強化支援事業助成金(国庫基金)」(2003年度～)および「スポーツ振興くじ助成金」(2011年度～)の交付を受けています。今年度については、両助成金で87百万円の交付を受け、マネジメント機能強化、研修会やDIVISION1の活性化およびDIVISION2・3の強化育成・活性化に活用しました。今年度までの交付累計受入額は879.7百万円に達しています。

今後とも制度の主旨に沿った有効活用を心がけ、改善改革に努め、組織基盤の強化を図り、バレーボール界の普及・発展に邁進してまいります。

(10) 協賛金

今シーズンもDIVISION1へ各企業より継続的に協賛をいただくことができました。協賛いただきました各企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

結果として協賛金は前年度比で、微増となりましたが、今後、「V.LEAGUE REBORN」に基づく新リーグを安定的に運営するためには、協賛いただけるより一層の企業の獲得は必須であり、そのためにも新リーグの価値向上に向けて最大限努力して参る所存です。

社員の皆様におかれましても、SVリーグ、ジャパンバレーボールリーグ並びに日本バレーボール界の発展のため、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



3. 社員一覧

*社員名、チーム名は2024年6月30日現在（順不同）

社員名	チーム名	区分	基金の口数	基金の額（円）
公益財団法人日本バレーボール協会			12	6,000,000
岡山シーガルズ株式会社	岡山シーガルズ	女子	1	500,000
サントリーホールディングス株式会社	サントリーサンバーズ	男子	1	500,000
株式会社デンソー	デンソーエアリービーズ	女子	1	500,000
東レ株式会社	東レアローズ	男子	1	500,000
	東レアローズ	女子	1	500,000
TG SPORTS 株式会社	ウルフドッグス名古屋	男子	1	500,000
日本たばこ産業株式会社	JTサンダーズ広島	男子	1	500,000
	JTマーヴェラス	女子	1	500,000
日本電気株式会社	NECレッドロケッツ	女子	1	500,000
SAGA 久光スプリングス株式会社	久光スプリングス	女子	1	500,000
日立 Astemo 株式会社	日立 Astemo リヴァーレ	女子	1	500,000
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ	日本製鉄堺ブレイザーズ	男子	1	500,000
パナソニックスポーツ株式会社	パナソニックパンサーズ	男子	1	500,000
一般社団法人上尾中央医科グループ協議会	埼玉上尾メディックス	女子	1	500,000
株式会社大野石油店	大野石油広島オイラーズ	女子	1	500,000
一般社団法人近畿クラブスフィード	近畿クラブスフィード	男子	1	500,000
警視庁特科車両隊	警視庁フォートファイターズ	男子	1	500,000
株式会社ジェイテクト	ジェイテクト STINGS	男子	1	500,000
医療法人青雲白鷺会三好内科・循環器科医院	大分三好ヴァイセアドラー	男子	1	500,000
大同特殊鋼株式会社	大同特殊鋼レッドスター	男子	1	500,000
一般社団法人つくばユニテッドサンガイア	つくばユニテッド SunGAIA	男子	1	500,000
医療法人社団天宣会	千葉エンゼルクロス	女子	1	500,000
トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車サンホークス	男子	1	500,000
トヨタ車体株式会社	トヨタ車体クインシーズ	女子	1	500,000
一般社団法人東京ヴェルディクラブ	東京ヴェルディ	男子	1	500,000
富士通株式会社	富士通カワサキレッドスピリッツ	男子	1	500,000
一般社団法人 KUROBE アクアフェアリーズ	KUROBE アクアフェアリーズ	女子	1	500,000
株式会社 PFU ライフエージェンシー	PFU ブルーキャッツ	女子	1	500,000
株式会社デルフィーノスポーツ	兵庫デルフィーノ	男子	1	500,000
株式会社きんでん	きんでんトリニティーブリッツ	男子	1	500,000
トヨタモビリティ東京株式会社	トヨタモビリティ東京スパークル	男子	1	500,000
TGC ゼネラルサービス株式会社	東京サンビームズ	女子	1	500,000
ぎふ農業協同組合	JA ぎふリオレーナ	女子	1	500,000
NPO 法人アザレア・バレーボール振興会	埼玉アザレア	男子	1	500,000
株式会社 VC 長野クリエイティブスポーツ	VC 長野トライデンツ	男子	1	500,000
一般社団法人プレス浜松	プレス浜松	女子	1	500,000
株式会社信州スポーツプロモーション	長野 GaRons	男子	1	500,000
株式会社 VOREAS	ヴォレアス北海道	男子	1	500,000
株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ	ヴィアティン三重	男子	1	500,000
	ヴィアティン三重	女子	1	500,000
NPO 法人 NBK dreamers	奈良ドリーマーズ	男子	1	500,000
一般社団法人グリーンウイングス GUNMA	群馬グリーンウイングス	女子	1	500,000
株式会社プレステージ・インターナショナル	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	女子	1	500,000
株式会社姫路ヴィクトリーナ	ヴィクトリーナ姫路	女子	1	500,000
株式会社北海道イエロースターズ	北海道イエロースターズ	男子	1	500,000
ルートインジャパン株式会社	ルートインホテルズブリリアントアリーズ	女子	1	500,000
一般社団法人千葉ライズ	千葉 ZELVA	男子	1	500,000
株式会社クボタ	クボタスピアーズ	男子	1	500,000
アイシン辰栄株式会社	アイシンティルマーレ	男子	1	500,000



フォレストリーヴズ熊本株式会社	フォレストリーヴズ熊本	女子	1	500,000
株式会社リガーレ・スポーツエンターテインメント	リガーレ仙台	女子	1	500,000
一般社団法人福岡ウイングスピリッツ	福岡ウイングスピリッツ	男子	1	500,000
株式会社グレートベアーズ	東京グレートベアーズ	男子	1	500,000
株式会社フィールドエックス	フラーゴラッド鹿児島	男子	1	500,000
一般社団法人アルテミス北海道	アルテミス北海道	女子	1	500,000
株式会社アブレイズ	倉敷アブレイズ	女子	1	500,000
株式会社カノア	福岡カノアラウレアーズ	女子	1	500,000
合 計 (55 法人) (57 チーム)			67	34,500,000



4. 役員一覧

2024年6月30日現在

代表理事 (チェアマン)	くにぶ ひろゆき 國分 裕之	1958年(昭和33年)4月13日生 第14期～第15期理事、第16期～第18期代表理事会長 全日空商事(株) 顧問
業務執行 理事	おおかわ まさあき 大河 正明	1958年(昭和33年)5月31日生 第18期理事副会長 びわこ成蹊スポーツ大学 学長
理事	はやの ようじ 早野 容司	1960年(昭和35年)3月3日生 第6期～第11期監事、第12期～第18期理事 (公財)日本バレーボール協会ハイパフォーマンス事業本部 男子強化副委員長 ジェイテクトセールス(株) 代表取締役社長
理事	のだ けんいち 野田 謙一	1972年(昭和47年)1月18日生 第18期理事 NECレッドロケッツ ディレクター
理事	おおばやし もとこ 大林 素子	1967年(昭和42年)6月15日生 第14期～第18期理事 (株)ホリプロ、スポーツキャスター
理事	やまもと たかひろ 山本 隆弘	1978年(昭和53年)7月12日生 第16期～第18期理事 (株)T-FIVE 代表取締役
理事	しもむら えいじ 下村 英士	1959年(昭和34年)10月31日生 第16期～第18期理事 (一財)広島県バレーボール協会 専務理事
理事	すぎやま あけみ 杉山 明美	1965年(昭和40年)3月1日生 第16期～第18期理事 (公財)日本バレーボール協会ハイパフォーマンスサポート委員会 ニュートリションユニット顧問 (株)クリスタル・SUGIYAMA AKEMI 代表取締役
理事	こいけ のりこ 小池 徳子	1962年(昭和37年)9月17日生 第16期～第18期理事 公認会計士小池事務所
理事	なかい ようこ 中井 陽子	1965年(昭和40年)7月19日生 第18期理事 ルーチェ法律事務所 所長弁護士



理事	やじま ひさのり 矢島 久徳	1965年(昭和42年)6月17日生 第18期理事 (公財)日本バレーボール協会 ハイパフォーマンス事業 本部長
理事	しいば まこと 椎葉 誠	1981年(昭和56年)12月16日生 第18期理事 (株)ヴィアティン三重ファミリークラブ 常務取締役
理事	うつぎ ゆきお 宇津木 幸夫	1963年(昭和38年)2月1日生 第18期理事 群馬グリーンウイングス 部長
理事	みつやま ひでゆき 光山 秀行	1962年(昭和37年)6月21日生 第18期理事 (一社)近畿クラブスフィード 代表理事
監事	よこい としひろ 横井 俊広	1960年(昭和35年)3月8日生 第14期～第18期監事 (一社)愛知県バレーボール協会 理事・副会長 TG SPORTS(株) 代表取締役社長、ウルフドッグス名古屋 SGM TG ウェルフェア(株)取締役社長
監事	きとう しろう 佐藤 嗣朗	1965年(昭和40年)8月17日生 (一社)上尾中央医科グループ 埼玉上尾メディックス事業部室長